

三〇一番

我わ妹ぎ子もにこ 衣ころもかすがの  
妹いもがめ目めをみ見みむ  
か 妹いもがめ目めをみ見みむ  
宜よし寸き川がは よしもあらぬ

三〇二番

とぐものあめ曇くもり 雨あめふる川かはの  
思おもほゆるかも 思おもほゆるかも  
さなざれ波なみ 間まなくもき君みは

三〇三番

我わ妹ぎ子もやこ 我あをわす忘わすらすな  
絶たえむとおも思おもへや 石い上その  
袖そで布ふる留る川かはの

三〇四番

三み輪わ山やまの 山やま下したとよみ 行ゆくみづ水みづの  
は 後のちもわ我わがつま妻つま 行ゆくみづ水みづの  
水み脈をし 絶たえず 水み脈をし 絶たえず